

日本福祉介護情報学会ニュース

2009年度第3号

2010年3月31日

発行：日本福祉介護情報学会（<http://jissi.jp>）

埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部 森本研究室内 jissi-mail@e-wel.ne.jp

【目次】

1.	第10回研究大会を終えて	1
2.	第11回研究大会のご案内	2
3.	総会報告	2
4.	2008年度決算報告	4
5.	HP委員会の動向	5
6.	学会紀要について	5
7.	「福祉・介護の情報学」が出版されました	5
8.	事務局から	5
	(編集後記)	6

1. 第10回研究大会を終えて

日本福祉介護情報学会理事・第10回研究大会 事務局
(立教大学) 森本 佳樹

第10回研究大会は、2009年12月13日(日)に東京都豊島区の立教大学で、大会テーマ「地域包括ケアを支える情報システムの課題と展望 ～日本福祉介護情報学会の10年とこれからのあり方～」として、60名の参加を得て開催されました。内容は以下の通りです。

《自由研究発表》10:00～12:35

- ①「静岡県老人福祉施設における4年間の情報化の変遷」 岩井宏(静岡福祉大学)
- ②「自治体の安全・安心に関する施策及び関連サービスに対する住民意識調査の報告」
田中康裕(早稲田大学)
- ③「医療・福祉へのICTナレッジマネジメントプロセスの検討ー医療のCS(顧客満足度)向上への暗黙知の表出化への考察からー」
田井義人(摂南大学)
- ④「公共輸送機関における障害者割引制度とICカード乗車券についての考察」
井上俊孝(西九州大学)
- ⑤「高齢者施設を中核とした緊急災害や緊急事態のための一斉連絡システムに関する実証研究」
木島真央(特定非営利活動法人せんだいアビリティネットワーク)
- ⑥「福祉サービス第三者評価者の専門性に関する一考察～専門性構造モデルの妥当性の検討～」
村田道彦(芦屋女子短期大)

《記念講演》13:45～14:25

「日本福祉介護情報学会の10年とこれからのあり方～地域包括ケアを支える情報化を巡って～」
高橋紘士(学会代表理事・立教大学)

《シンポジウム》「地域包括ケアを支える情報システムの課題と展望」14:30～17:00

(シンポジスト) 筒井孝子(国立保健医療科学院)

「地域連携のための情報共有の課題と展望(地域連携パス)」

前田みゆき(日立製作所)

「地域包括ケアを支える情報ネットワーク技術の将来展望」

小川晃子（岩手県立大学）

「地域ケアにおける自立とインフォーマルサポートへの情報支援」

東内京一（厚労省老健局総務課課長補佐）

「地域包括ケアにおける行政の情報化の課題と展望」

（コメンテーター）高橋紘士

（コーディネーター）生田正幸（副代表理事・関西学院大学）

今回の大会は第10回記念大会でした。介護保険や基礎構造改革の只中の2000年6月に学会が設立され、学会の軌跡と歩調をあわせるように福祉情報化も進展し、今では、福祉・介護の実践に情報が不可欠であるという認識は広く行き渡っています。しかし、福祉・介護の実践者・研究者サイドからの情報化推進の具体的なスキルやツールの開発には、まだまだ多くの課題が残されています。また、2006年の改正介護保険以降注目されてきている地域包括ケアを支える情報化のあり方についても、十分議論が尽くされているとはいえない状況にあります。

そうした状況を背景にして、今大会では「地域包括ケアを支える情報システムの課題と展望 ～日本福祉介護情報学会の10年とこれからのあり方～」をテーマに、今後必要とされる地域ケアにおける情報連携のあり方とそれを支えるスキルやツール開発に焦点を当てて、シンポジウムを行いました。

その内容は、終了後に、一般参加の方から「非常に刺激的で、他の学会では聞けないような高いレベルのシンポジウムだった」とのコメントをいただいたように、充実したものになったと感じています。紙数の関係で詳細は触れられませんが、来年度中ごろには、シンポジウムの記録を中心に第10回記念大会の概要集としてまとめ、会員の皆さまに配布する予定ですので、それを参照していただければと思います。

午前中の自由研究発表、午後の高橋代表理事の記念講演、記念シンポジウムという盛り沢山の内容でしたが、発表者・参加者の方たちのご協力を得て、大会を成功裏に終了できたことに安堵を覚えるとともに、発表者・参加者・事務局関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

2. 第11回研究大会のご案内

日本福祉介護情報学会理事・第11回研究大会 事務局
（関西学院大学） 生田 正幸

2010年度の第11回大会は、関西学院大学で11月か12月頃に開催されることになりました。時期、会場、内容等は未定ですが、多くの方の参加が得られるような、時宜を得たテーマにしたいと考えています。詳細が決まり次第お知らせしますので、よろしくお祈りします。

3. 総会報告

日本福祉介護情報学会理事・事務局
（立教大学） 森本 佳樹

2009年12月13日（日）の日本福祉介護情報学会第10回研究大会において会員総会が開催され、以下の議案について協議し、承認されたので概要を報告します。

《報告事項》

(1) 会員加入状況（2009年12月12日現在）

会員数：個人会員121名 学生会員14名 法人会員1法人（登録2名）

(2) 第4期役員選挙の結果と理事の役割分担について（略）

(3) 名誉会員の推薦について

岡本民夫会員（同志社大学名誉教授）

(4) 専門部会設置規程の制定について

「ホームページ委員会」の設置に伴う専門部会活動の運用のための規程の整備

- (5) 研究紀要『福祉情報研究第5号』『福祉情報研究第6号』『福祉情報研究第7号』について
(略)
- (6) 学会編『福祉・介護の情報学』(オーム社)の発行と会員への配布
- (7) サーバーの移行について: 利便性の向上のため、2010年1月末にサーバーを移行
- (8) ニュースレターのメールマガジン化について
サーバーの移行に伴い、ニュースレターをMLでも提供
- (9) ホームページ委員会の設置について
委員長: 村井祐一理事(田園調布学園大学) 委員: 番匠一雅会員(田園調布学園大学)、
川名正昭会員(田園調布学園大学)、北舘一弥会員(日本IT広報)

《審議事項》

- (1) 2008年度事業報告・決算(略)
- (2) 2009年度事業計画・予算(略)
- (3) 会則の変更について
学生会員の選挙権並びに監事の選出についての規定改正

《その他》

- (1) 2010年度研究大会の開催について(略)
- (2) 住所等変更届の提出のお願い(略)

4. 2008 年度決算報告

日本福祉介護情報学会理事・事務局
(立教大学) 森本 佳樹

《収入の部》

(単位:円)

項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 入会金収入	140,000	52,000	88,000	
1-1 正会員	30,000	36,000	△ 6,000	@3,000×12 人
1-2 学生会員	10,000	16,000	△ 6,000	@2,000×8 人
1-3 法人会員	100,000	0	100,000	@100,000×0 社
1-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0 人
2 会費収入	1,120,000	1,222,000	△ 102,000	
2-1 正会員	660,000	908,000	△ 248,000	@6,000×151 人分(実 102 人)
2-2 学生会員	60,000	114,000	△ 54,000	@3,000×38 人分(実 24 人)
2-3 法人会員	400,000	200,000	200,000	@100,000×2 社
2-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0 人
3 参加費収入	60,000	61,000	△ 1,000	
3-1 参加費収入	60,000	61,000	△ 1,000	9/7 学習会
4 雑収入	7,000	228,455	△ 221,455	
4-1 雑収入	7,000	228,455	△ 221,455	預金利子・資料頒布・大会返礼金
5 繰越金	4,195,000	4,222,421	△ 27,421	2007 年度決算額
5-1 基本財産繰越金収入	1,095,000	1,098,000	△ 3,000	
5-2 前年度繰越金収入	3,100,000	3,124,421	△ 24,421	
合計	5,522,000	5,785,876	△ 263,876	

《支出の部》

項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 事業費	1,090,000	844,128	245,872	
1-1 理事会開催費	350,000	203,320	146,680	理事会2回分
1-2 研究大会助成費	350,000	350,000	0	北翔大林研究室
1-3 委員会費	60,000	14,080	45,920	社協調査費用
1-4 紀要発行費	230,000	160,320	69,680	英文校閲費・送料・5号印刷費用96,000 円
1-5 学習会開催費	100,000	116,408	△ 16,408	9/7 学習会謝礼・会場費・消耗品
2 事務費	200,000	60,540	139,460	
2-1 什器・備品費	20,000	0	20,000	
2-2 印刷費	80,000	0	80,000	
2-3 通信費	70,000	60,540	9,460	ニューズレター・会費請求送料他
2-4 事務補助員費	30,000	0	30,000	
3 繰越金	1,235,000	4,881,208	△ 3,646,208	
3-1 基本財産繰越金	1,235,000	1,150,000	85,000	入会金及び入会金繰越充当
3-2 次年度繰越金	0	3,731,208	△ 3,731,208	
4 予備費	2,997,000	0	2,997,000	
合計	5,522,000	5,785,876	△ 263,876	

5. HP 委員会の動向

日本福祉介護情報学会理事・HP 委員会委員長
(田園調布学園大学) 村井 祐一

2010年1月にWebサーバーの移行が無事終了し、現在は新サーバー上での運営が行われています。ホームページのURLは従来通りの(http://jissi.jp)と(http://www.jissi.jp)の双方からトップページへのアクセスが可能となりました。

サーバー移行に伴い会員向け情報サービスのためのメーリングリストが始まります。このメールは(member@jissi.jp)からの発信を予定していますので、受信制限などを設けている方は解除をよろしく願いいたします。

ホームページ委員会が設置され、すでにメール上でのプレ会議が開催されていますが、正式な第1回委員会をまもなく開催し、jissiサイトのリニューアルに向けた話し合いを行う予定です。

6. 学会紀要について

日本福祉介護情報学会理事・紀要編集委員長
(関西学院大学) 生田 正幸

日本福祉介護情報学会理事・紀要編集委員
(北翔大学) 林 恭裕

刊行が大幅に遅れておりました学会研究紀要「福祉情報研究」第5号については、まもなくお手元にお届けいたします。ご執筆いただいた方々と会員各位にたいへんご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫びいたします。

今後は、昨年末に立教大学で開催された当学会設立10周年記念大会の基調講演とシンポジウムを収録した「10周年記念誌」を6～7月頃に、また「福祉情報研究」第6号を夏頃、同じく第7号を年末頃にお届けする予定です。

福祉情報研究第6号は、7月発行を目処に準備を進めています。巻頭文には、辻 哲夫さん(東京大学教授)にお願いしており、研究論文も2編を掲載する予定です。さらに、第9回大会(北海道大会)のシンポジウムと北海道における保健福祉情報システムの顛末記も合わせて掲載します。北海道における過去の先駆的な取り組みである北海道INS情報センターについての総括的なものになればと思っています。

7. 「福祉・介護の情報学」が出版されました

日本福祉介護情報学会理事・事務局
(東京都社会福祉協議会) 須永 誠

昨年の学会総会でご報告いたしました、本学会編の「福祉・介護の情報学 ～生活支援における問題解決アプローチ～」が、昨年12月にオーム社から発刊されました。

これに伴い、ニューズレター前号でもお知らせしましたように、本年度在籍会員には書籍1部を、本学会の2009年度予算で買い上げ、すでにお届けしたところです。

なお今次出版に際して、出版社より本学会に対して印税が支払われることになりましたので、その一部を財源に今後なお一層、福祉・介護の情報化を進めるための研究・出版に取り組むべく学会活動を進めてまいりますので、ご意見、ご要望等をお寄せください。

8. 事務局から

日本福祉介護情報学会理事・事務局
(東京都社会福祉協議会) 須永 誠

年度末・年度初めのおり、ご所属や居所・メールアドレス等に変更が生じた会員におかれては、事務局あてにお早めにお知らせください。今年度は、紀要の複数回送付も予定されておりますので、

未達とならぬようご協力をお願いします。

なお、2010年度の本学会会費のご請求は、今回の発送（ニューズレターor紀要）に同封してお届けする予定ですので、ご承知おきください。

■会員加入状況（2010年3月22日現在）

正会員 123 名 / 学生会員 15 名

~~~~~       ~~~~~       ~~~~~       ~~~~~

**（編集後記）** 2009年度は3号を刊行することができましたが、学会員の皆さまのお手元に届けるのが新年度にずれこんでしまいましたことを、深くお詫び申し上げます。

2010年度も3号の刊行を予定しておりますが、「福祉情報に関する最近の動向」（仮称）等、新たな記事の掲載も検討しております。会員の皆様には、情報提供をお願い申し上げます。

日本福祉介護情報学会理事・ニューズレター担当  
（岩手県立大学） 小川 晃子